

4 犯罪被害の防止

◇課題◇ 犯罪被害を事前に防止するために、危険予測し回避する、身の周りの防犯の取り組みを知ろう。

Step 1

教科書 P6 4～P6 5 を読む。

- ① わからないことや疑問に思ったことは学習ノートのノート欄に書き残しておこう。
- ② 教科書 P6 4 の資料①で犯罪が起こりやすい場所、場面を確認しよう。
- ③ 教科書 P6 5 の資料③で犯罪防止のためのつながりについて確認する。

Step 2

教科書 P6 4 の①②の犯罪が起こりやすい場所、場面と取り組みについて、また中学生と小学生で犯罪被害の違いを理解する。

- ① 教科書 P6 4 資料①②の犯罪が起こりやすい場所、場面の例と犯罪防止の取り組み例を資料ノートの note 欄に分かりやすくまとめよう。
- ② ①でまとめた例を、川口市で見かけたことがある場合、場所を付け加えて書こう。
- ③ 教科書 P64 のウォームアップ①②を資料ノートに記入しよう。

Step 3

資料ノート P8 のウォームアップを行い、5 つの約束の確認と場面を想像して、正しい行動を考える。

- ① 「イカ・の・お・す・し」の約束を記入する。
- ② 正しい行動に○を付けて、何故安全なのか考える。

Step 4

学習のまとめ・今回のまとめをする

- ① 資料ノート P8 の 1、「犯罪被害の予測と回避について」を、教科書を参考にしながらやってみよう。
- ② 資料ノート P8 の 2、「防犯の取り組み」について、正しいものには○、誤っているものには×を付けよう。
- ③ 答え合わせをする。（間違えは消さずに赤で直す。）
- ④ 資料ノート P9 の「学んだことを生活に生かそう！」に今後気をつけていきたいことを記入する。

〈まとめ〉

特に中学生は興味・関心や _____ も広がっていくため、犯罪被害にあう可能性も**小学生の頃に比べて高くなる**。犯罪被害による傷害をふせぐためには、危険は予測し、 _____ に近づかないことが有効です。犯罪を生み出さないために地域では、「こども 110 番の家」などの取り組みを進めている。